

## 第9回日展

### 第4科（工芸美術）特選授賞理由

題名 <b>砂海の風</b>	作者名 <b>喜多浩介</b>	題名 <b>愛燐燐</b>	作者名 <b>高森絢子</b>
授賞理由 <p>地球の渴きが風をも化石化させる憂いを優しく表現した本作。有機的な形を覆う貫入状の亀裂は、膨張するかのように設置空間全体を支配する存在感がある。一方で幻想するようなエロティシズムも兼ね備える非凡さもある。</p>	授賞理由 <p>手びねり成形の張りのある器体を化粧土、象嵌で加飾し、部分的に上絵付けする丁寧な仕事である。その控え目で美しい有り様が作家の持ち味と思うが、一方で獨得のコナシやキレがあり、現代の感覚にも通じている。</p>		
題名 <b>遙跡</b>	作者名 <b>小割哲也</b>	題名 <b>Steelyard</b>	作者名 <b>手銭吾郎</b>
授賞理由 <p>張りのある力強いフォルムの中に、建築構造物を思わせる造形が施されている。緑釉の流れや、濃淡の相乗効果により、朽ちていく様子や時間の経過が上手く表現されている。迫力のある作品である。</p>	授賞理由 <p>人と天秤を組み合わせた形態を造形テーマとし、「心のバランス」を表現した造形作品である。ヘラ絞りの技法を用い、パーツを成形し組み上げている。独自の表現で新しい鍛金の可能性を期待できる作品である。</p>		
題名 <b>始まりの景</b>	作者名 <b>斎藤晴之</b>	題名 <b>燃秋</b>	作者名 <b>外村達彦</b>
授賞理由 <p>漆の作品である。2つの造形が寄り添った形象。漆の艶有り（呂色仕上）と、艶消し（砂糖乾漆技法）との対比が美しい陰影になっている。素地は漆と布で出来た乾漆になっており見事な作品である。</p>	授賞理由 <p>結び技法で秋深まる中、燃え盛る山々の風景を細かく丁寧に、さまざまな編み方を駆使し結びあげている。躍動感あふれ力強く語りかけてくる秀作である。</p>		
題名 <b>オマージュ 勝利の女神ニケ</b>	作者名 <b>桜田知文</b>	題名 <b>ターコイズの風</b>	作者名 <b>堀 菱子</b>
授賞理由 <p>主題の女神ニケの容態から内在する精神性が共鳴し、ノスタルジックで重層的な感情の響きあいを鑑賞者に求心的な叙情詩としてさまざまなイメージを投影させてくれる。新たな魅力を紡ぎだす金属アートの作品である。</p>	授賞理由 <p>型染めの技法で印象的な青に染め上げた秀作である。線と面からなる明快な形の繰り返しの表現が効果的に心地よいリズムを与える。形や色の重なりも美しく、大海原を渡る爽やかな風が画面全体に流れている。</p>		
題名 <b>花の雫</b>	作者名 <b>SUIT</b>	題名 <b>宙へ</b>	作者名 <b>堀内晴美</b>
授賞理由 <p>大胆でおおらかなフォルムの造形である。表面は月を感じさせ、内部にかけ、筆で連續的に文様を表し夜光貝を細かく碎き貼る事で、黒漆と共に鳴し、リズミカルに花の露の雫がしたたるようだ。</p>	授賞理由 <p>椿花が明けの空に舞い上がっています。作者の創意から生まれた線的、抽象的な模様表現が風や香の空気感、椿花の嬉々とした喜びの様を感じ、リズミカルな動きのある詩情豊かな空間表現となつたローケツ染の作品です。</p>		